

1 アウトソーシングする業務	
(1) 業務名	アウトソーシング e-ラーニング教材作成業務
(2) 業務の概要 (100文字以内)	アウトソーシングや受発注のしくみへの理解を深めること及び、広報や説明会のやり方を見直すことを目的に、e-ラーニング方式で時間や場所の制約を受けず「誰でも、いつでも、どこでも」学ぶ(閲覧する)ことができる教材を、テレワークを活用して作成する。
(3) 予算化の時期(予定)	既存予算対応
(4) 発注時期(予定)	12月頃
(5) 委託期間(予定)	平成19年12月上旬～平成20年3月中旬
(6) 担当課室 担当者	業務改革推進室 担当者：大石
(7) 想定する委託先	地域版事業者(民間企業、団体、NPO、任意のグループ)
(8) 想定する契約方法	随意契約
(9) 想定するアウトソーシング人役	0.2人役
2 アウトソーシングする理由(何のためにどんな役割をアウトソーシングするのか)	
<p>地域には、黒潮町の「おおがた学校」(*1)や「住民ディレクター活動」(*2)などのような取り組みを通じて、教育や映像制作、情報発信のスキルを習得した人材や、民間企業などでノウハウを身につけたUI/UX人材がいる。そうした人材のノウハウを教材作成の企画(県と協働で実施)、取材、撮影、編集作業などに活用することで、目的やニーズを満たした質の高い教材の作成、提供ができる。</p> <p>*1 全国インターネット市民塾と連携して様々なe-ラーニング教材を提供しているネットの学び舎。閲覧できる環境があれば、会員登録(無料)で誰でもが利用できる。現在は「Kochiくろしお学校」。</p> <p>*2 地域素材などをビデオカメラで撮影、編集、掲載する作業を通じて、地域資源の魅力を発掘、再発見し、それを伝える企画力、想像力、情報発信力を習得し、まちづくりに活かす取り組み。</p>	
3 アウトソーシングの効果として重視しているもの	
(1) 県民サービスの質の向上	<p>これまでに培われた地域の人材の知恵やノウハウを教材づくりに活かすことで、職員だけで作成したものと比較して品質の向上が期待できる。</p> <p>また、教材の企画に発注者と受注者双方の経験や視点を取り入れることで、わかりやすく課題解決につながる教材を提供できる。</p> <p>昨年度作成した教材  <a href="http://www.kochi-kuroshiogakko.com/home/kochipref/top/os_e-learningtop.html">http://www.kochi-kuroshiogakko.com/home/kochipref/top/os_e-learningtop.html</a></p>
(2) 民間との協働による人材育成、雇用の創出	<p>教材の企画を協働で行うことによって、相互理解が深まり協働の意識が高まる。</p> <p>教育、映像作成、それぞれのノウハウを持つ人材のコラボレーションにより、新たな分野での仕事の受注につながり、雇用創出効果が期待できる。</p>
(3) 県民の参画、地域の活性化	<p>地域版アウトソーシングの効果として、地域に(2)の人材育成、雇用創出効果が生まれることによって、さらに自発的に地域課題解決や地域振興のために活動する人材としてステップアップすることが期待できる。</p>
(4) その他	